

学年・教科担任制を生かし、児童の学びの質を向上させる指導体制の構築
～主体的に学ぶ児童の育成～

昨年度は、「自ら学び、思いを実現しようとする児童の育成～学習者用端末の利活用を通して～」という研究主題で研究をすすめました。その結果、児童は、学習者用端末を使用することで以下のように自らの力が伸びたと実感することができました。

- 「分からないことをすすんで調べるようになった」
- 「自分の考えを表しやすくなった」
- 「友達と教え合いができるようになった」
- 「自分で学習の仕方を選べるようになった」

というように自分の力が伸びたと答えています。

教員側も学習者用端末を活用した授業のスキルが身に付き、児童と共に授業をつくることができるようになりました。

今年度は、学年・教科担任制を取り入れ、モデル校として研究をすすめることになりました。学年・教科担任制とは、担任が自分の学級だけでなく、担当教科をもち、学年全体の児童に関わっていくという制度です。

第三小学校では、1，2年生では音楽・図工・体育、3，4年生では社会・理科・外国語・国語、5年生では国語・社会・家庭科、6年生では社会・国語を教科担任制で授業しています。

学年・教科担任制は、複数の教員で児童と関わることで学年全体の児童理解が深まるとともに、一つの教科を担当することで教員の担当する教科の専門性を高める良さがあります。

児童が、「いろいろな先生と学習できて楽しい」「先生の授業が前よりも分かりやすく、おもしろい」そう感じられるような授業を目指してこれからも研究をすすめています。